



ソーシャルワークはマイノリティをど
う捉えてきたのか
—制度的人種差別とアメリカ社会福祉史

日本社会福祉学会第70回春季大会2021年度学術賞受賞者 西崎 緑

<https://sneaker-girl.com/blacklivesmatter-george-floyd-sneaker-community-statement/>

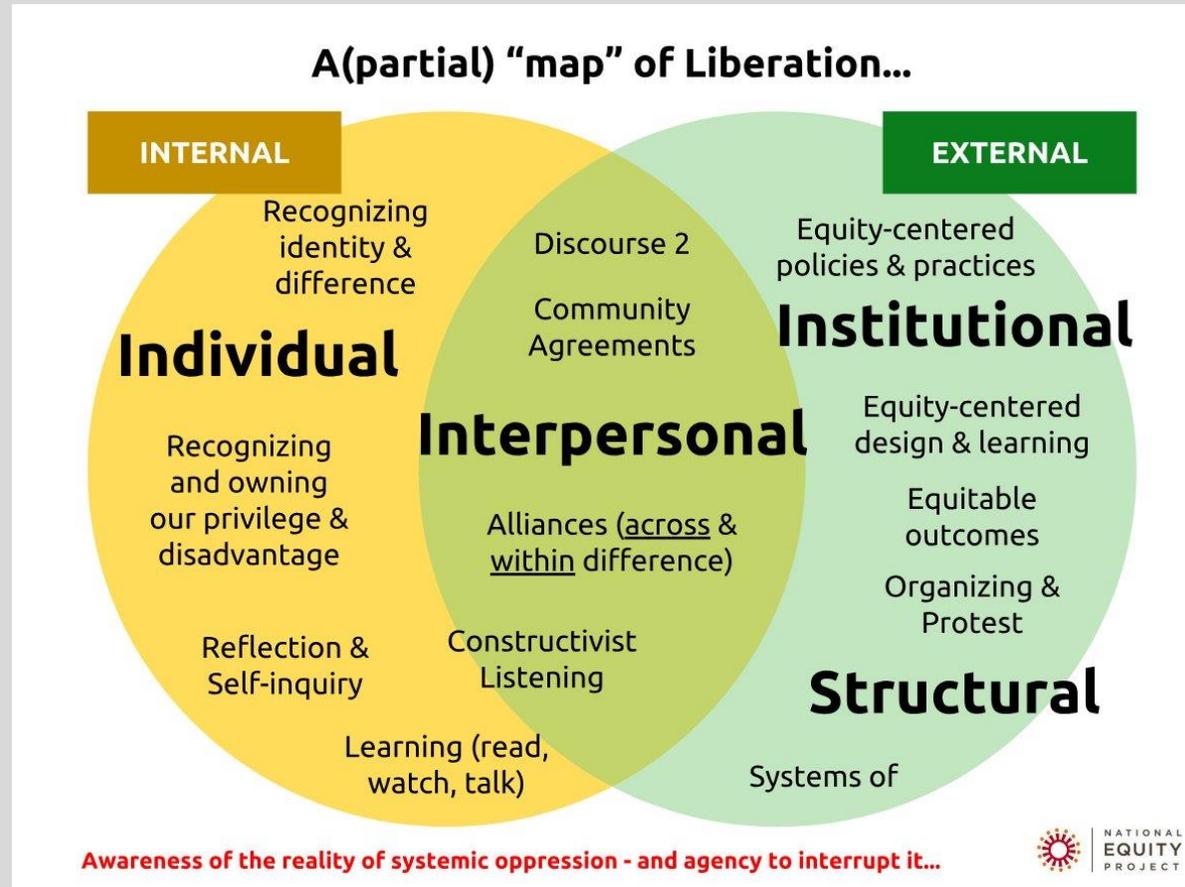
本書の「ソーシャルワークの歴史」研究

- アメリカ社会史の中でソーシャルワークを批判的に検討
- 
- アメリカ社会が持つ制度的、慣習的、意識的人種差別を容認し、その抑圧構造に対して、結果的に加担、あるいは協力することになった
 - SWの専門技法は、対象を白人と置き、WASP中心文化を持つ社会に適応・復帰させることを目指してきた
-

制度的人種差別とは

• 個人的人種差別

一人一人の意識の中にある



• 制度的人種差別

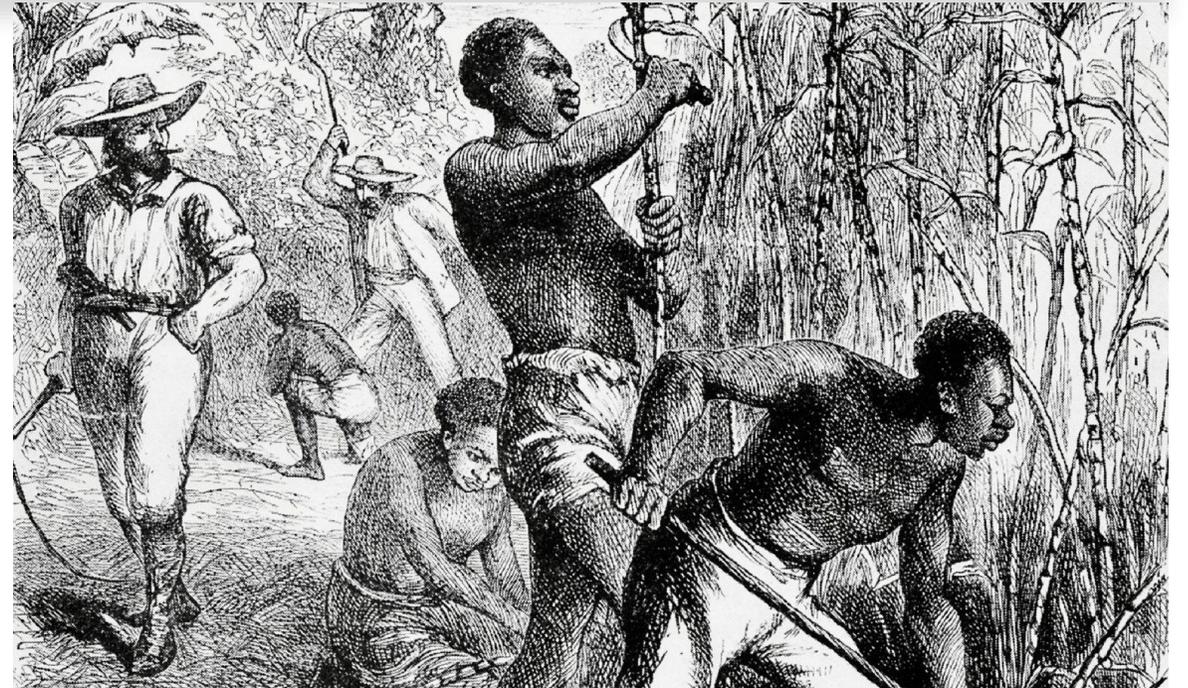
社会全体で組織的に行われている

制度的人種差別のソーシャルワークへの影響

- 南北戦争以降に黒人たちが経験した深刻で暴力的な差別、日常生活のあらゆる場面に制約をかける人種隔離、白人至上主義的政治システムにより奪われた投票権と政治参加の機会のすべてが制度的人種差別である（ストークリー・カーマイケル）
- 制度的人種差別は、南部に限らず、アメリカ社会全体にビルトインされた黒人に対する搾取と収奪のシステムであった。
- 人々の目にする日常世界においてあまりにも当たり前であったゆえに、その不当さにソーシャルワーカーたちも気づくことがなかった。

アメリカにおける奴隷制のルーツ

- 1667年に植民地議会の決定により、黒人の身分は奴隷となった
- 黒人の奴隷化は、神の選民ピューリタンに与えられた聖なる特権であると考えられていた



19世紀の工業化・都市化と自作農的世界の崩壊

- 労働に対する価値観や地域社会の人間関係が変化し、**貧富の差の拡大**や大量に流入した移民との接触は、在来の人々に不安感を抱かせた。
- **COS**は、ソーシャルワークのルーツに繋がる**友愛訪問**の手法を発達させ、ピューリタンの価値観にもとづくアメリカ市民の基本的な生活態度を、貧困者に学ばせて自立させることを目指した。



Photo: Columbia University – Social Forces
Visualized: Photography and Scientific
Charity, 1900-1920.



https://historyofsocialwork.org/eng/details.php?cps=7&canon_id=133

ソーシャルワークの専門化

メアリ・リッチモンド

エイブラハム・フレックスナー



<https://www.britannica.com/biography/Abraham-Flexner>

ソーシャルワーカーの専門訓練の開始

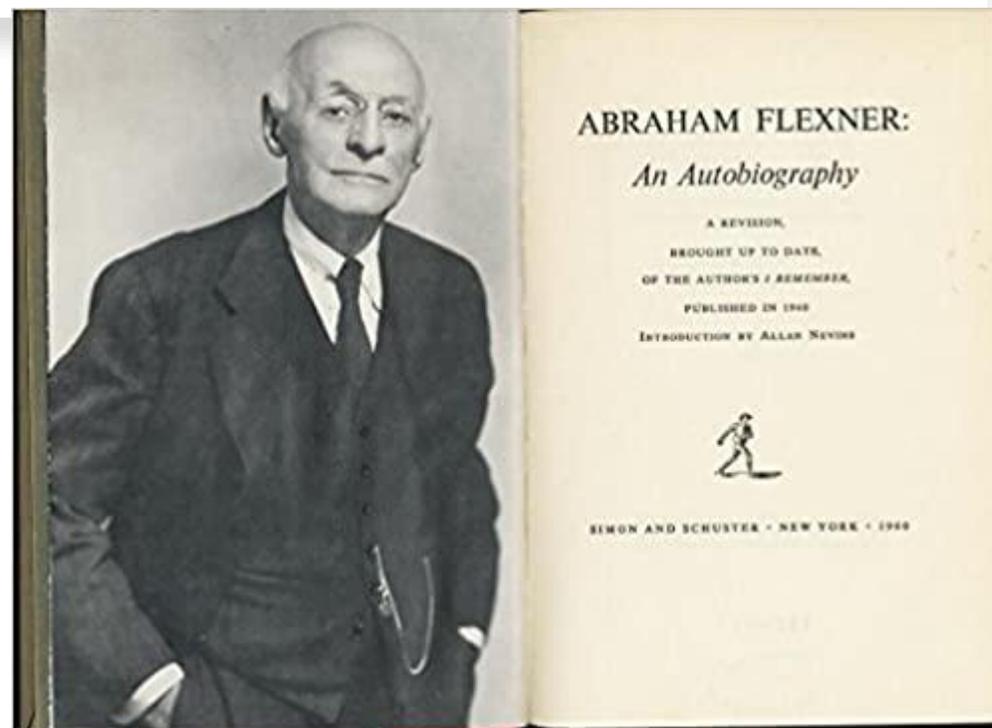
- 1897年に開催された全米慈善矯正会議の年次大会において、メアリー・リッチモンドが慈善ワーカーの専門訓練の必要性を訴えた。
- 翌1898年からニューヨークCOSの夏季講習が始まり、25名の参加者があった。
- 1904年からは、コロンビア大学に場所を移し、18か月のコースとなった。



<https://socialwork.columbia.edu/about/historical-timeline/>

ソーシャルワークは専門職か？ No

- 1915年の年次大会でエイブラハム・フレクスナー博士が「ソーシャルワークは専門職か？」という講演を行い、ソーシャルワークは、科学的手法が欠落しているため専門職とは言えないと結論づけた。
- ソーシャルワーカーは科学に裏付けられた専門的知識を修めた権威ある専門職となることを第一に考えるようになった。



<https://www.amazon.co.jp/Abraham-Flexner-An-Autobiography/dp/B000GW2X9S>

セツルメントワーカー

- セツルメント・ワーカーたちは、都市の黒人たちを支援するために自らのセツルメントを積極的に活用しようとはしなかった。

* 右の写真は、ジェーン・アダムズ

Jane Addams talks to visitors to Hull House in 1935



<https://www.archives.gov/nhprc/projects/catalog/jane-addams>

北部都市で黒人を支援したのは 都市同盟（NUL）と黒人教会であった

- ジョージ・ヘインズ
- アダム・クレイトン・パウエル



1910年に設立されたNULは基本的に人種間協力によって都市の黒人を支援する組織で、地方支部でそれぞれ必要なプログラム（職業訓練や職業紹介、住宅入居支援、レクリエーションの提供など）を実施した



1920年代には、アビシニアン・バプテスト教会（ニューヨーク市）のアダム・クレイトン・パウエル牧師は、教会がハーレムに移転した後に、スープ・キッチンを開いた。後にこの活動は、福祉活動、職業紹介事業、労働運動支援に発展していく。

1935年社会保障法の社会保険から黒人は排除されていた
= 農業労働者と家事労働者は対象とならず



<https://www.ssa.gov/history/ssa/usa1964-5.html>



<https://m.facebook.com/RepMcEachin/photos/a.1829601337316199/2734085840201073/?type=3>

専門職ソーシャルワーカーの進出先： 家族ソーシャルワークと精神医学ソーシャルワーク

公的扶助を扱う行政職であろうと、家族や兵士のケアを行う赤十字、YWCA、USO、後方支援部隊などの従事者であろうと、ソーシャルワーカーは福祉国家体制の一部として、その機能を果たす歯車となっていくた。



第一次大戦時に留守家庭へのケアとして実施された家族ソーシャルワーク

Monkey Business - Fotolia



Image Source: Simmons College



<https://alchetron.com/Forrester-Blanchard-Washington>

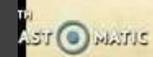
<https://radar.auctr.edu/islandora/object/au-c.069%3A0019>

フォレスター・ワシントン

1934年初めに連邦緊急救済局（FERA）内に、黒人専門課が設置された。その責任者には、アトランタ社会事業学校の校長フォレスター・ワシントンが任命された。ワシントンは、1934年、カンザス・シティで開催された全米社会事業会議第61回年次大会で、黒人には十分な就労機会が与えられないばかりか、農閑期の失業を扶助によって支えようとする悪徳経営者、黒人の不満を組織的な暴力によって封じ込めようとする社会的圧力があることを述べた。そして職業訓練事業を非熟練労働のみに限定しないこと、黒人学校の改善と保健医療機関の改善が必要であることを訴えた



- 1934- Appointed Director of Negro Work in the Federal Emergency Relief Administration (FERA) under President Franklin D. Roosevelt.
- Created with the passing of the Federal Emergency Relief Act in 1933.



黒人女性の地位向上をもたらした メアリ・マクロード・ベシューン

ベシューンは、エレノア・ローズヴェルトとの親密な関係をもとに、全国青年局（NYA）や婦人陸軍部隊（WAC）への黒人女性の採用を増やし、黒人女性に職業訓練と高等教育の機会、社会的地位の向上をもたらした。



- <https://www.savannahtribune.com/wp-content/uploads/images/2011-01-05/19p1.jpg>



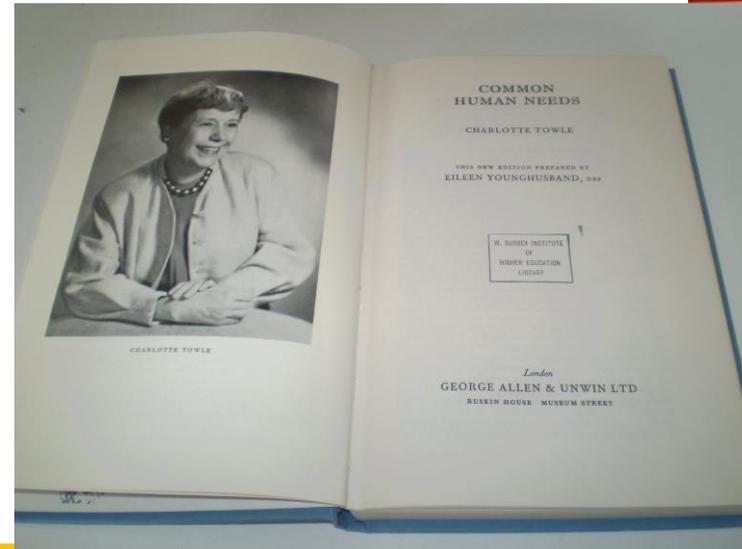
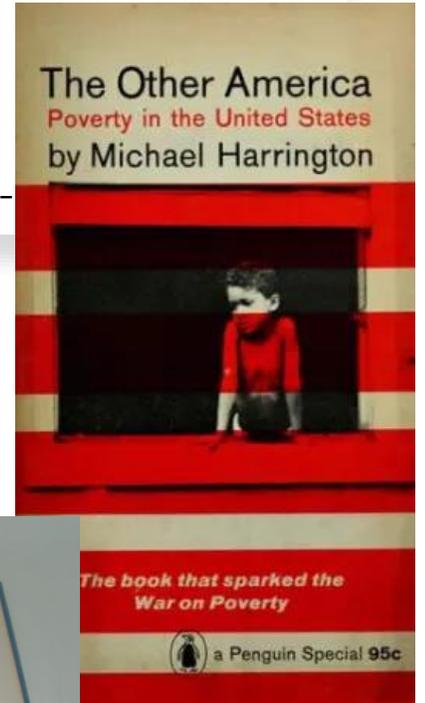
<https://newyorkmapcompany.com/products/cph3c32477u>

冷戦とマッカーシズムの影響

<https://www.amazon.com/OTHER-AMERICA-MICHAEL-HARRINGTON-Penguin/dp/B08LLBG7D1>

- 1950年代社会的に不安が蔓延する中で、ソーシャルワークは、白人中流家庭を対象とする家族ソーシャルワークに傾斜していった。
- 上院議員マッカーシーを中心とて行われた、反共産主義にもとづく社会のあらゆる人の告発は、『コモン・ヒューマン・ニーズ』の発刊停止など社会福祉界に暗い影を落とした。
- その一方で、1950年代終わりには、経済成長から取り残された陰の部分が明らかになり、マイケル・ハリントンの『もう一つのアメリカ』（1962年）が衝撃を与えた。

<https://www.amazon.co.jp/Common-National-Institute-Services-Library/dp/0043090060>



社会福祉界は人種統合に消極的だった

- 1948年の軍隊の人種隔離廃止、1954年のブラウン対教育委員会に対する最高裁判決は、人種隔離の廃止、社会の人種統合を進める動きになっていった。
- しかし多くのソーシャルワーカーたちは、緩慢にしか反応できなかった。それは、彼らが中流白人のクライアントを失うことを恐れたこと、反共キャンペーンによって社会改革的動きが抑制されたこと、南部のソーシャルワーカーたちが抑圧や報復を恐れたことなどが原因となっていた。



First page of the U.S. Supreme Court's ruling in Brown v. Board of Education, May 17, 1954.
National Archives, Washington, D.C.

ジョンソン大統領と貧困戦争

- 黒人たちは、就業の機会を即時に増やすことを求めて1963年8月ワシントン大行進を行った。
- 1964年ジョンソン大統領は、貧困の原因の除去を目指して連邦政府の予算を投じた大規模な対策を行うこととした。
- 経済機会均等法により、OEOが中心となってコミュニティ活性化やヘッド・スタートなどの11項目の貧困対策を実施した。



President Lyndon B. Johnson and his wife, Lady Bird, leave the home of Tome Fletcher, a father of eight who had been out of work for nearly two years. The president announced his War on Poverty from the Fletcher porch in 1964. (Associated Press)

全米福祉権団体
ジョニー・ティルモン

Wisconsin Historical Society



全国都市同盟
ホイットニー・ヤング

• LBJ Library photo



アフーマティブ・アクションと 社会福祉界の改革

- 全国都市同盟（NUL）の事務局長のホイトニー・ヤングは、法律の未整備によって黒人が保護されてこなかったこと、職業訓練の機会が制限されてきたこと、学校教育における質が保障されてこなかったこと、黒人居住地区の住宅整備が行われてこなかったことによって、黒人が生活向上の機会を奪われてきたことなどを数字を使って訴えた。
- その上で彼は、黒人大衆の生活回復のためには、政府がまず大量に財政を投入し、それによって就労機会や住宅の確保を含めた「総合的な黒人の包摂」施策を実施すべきであると主張した。
- 彼は、大企業との交渉により、黒人の就業率を上げることに成功した。



<https://www.nytimes.com/2012/10/14/sunday-review/rethinking-affirmative-action.html>

福祉権運動

- 社会保険の遺族年金普及により、創設時に白人寡婦を想定していたADC受給者が黒人を始めとするマイノリティ中心となったため、受給者攻撃が高まった。
- 人間としての尊厳を求める受給者による草の根運動が形成され、保証所得を要求した。
- 福祉権運動は、自立生活運動やブラック・パワーへ影響を与えた



At its height, the National Welfare Rights Organization had more than 25,000 dues-paying members. Some people have called it "the largest black feminist organization in American history."

Jack Rottier Collection/George Mason University Libraries

1968年全米黒人ソーシャル ワーカー協会の設立

- 黒人ソーシャルワーカーの主張



<https://www.nabsw.org/page/History>

NABSWとNWROによる養成校へのカリキュラム変更の要求

- A) 実習先に黒人コミュニティを増やすこと，その実習の条件として，黒人のスーパーバイザーを置くこと，実習生のユニットは黒人が多数となるようにすること，福祉権団体（WRO）をコンサルタントとして雇って謝礼を払うこと
- B) アドミッション支援と財政的支援を黒人学生に与えるプログラムを黒人が企画して実施すること，1年次の学生では，半分以上を黒人とすること
- C) 学校の管理職と教員の半分以上が黒人となるまで，白人の管理職や教員の新規採用を行わないこと，採用基準は黒人学生一教員，黒人コミュニティの代表者によって決めること
- D) 黒人学生一教員とコミュニティによって必要と判断された黒人カリキュラムを発展させること



CSWEの認証基準変更、ワークショップ開催

まとめ

- マイノリティの専門職は、自らの意識改革を行い、自らの出自のマイノリティ・グループの課題を最優先にすることにより、抑圧構造を解体し、マイノリティを解放することができる、ということが、ブラック・パワーの影響を受けた、新しい専門ソーシャルワークのあり方であった。
- 当事者ととともに歩むソーシャルワークの道を求めるならば、ソーシャルワークは、不断の自己点検・自己批判を行っていかねばならない。
- 養成校のカリキュラム、現場実践が、真に当事者ととともに歩み、社会の不条理と闘うものであるのかが問われている。